

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
新型コロナウイルスの影響により、ほぼすべてのカテゴリで前年を上回った。		
傾向は前月同様、菓ごもりによる「主食」ニーズは依然として高い。		
「米、米飯類」: 前年2桁増となるもやや勢いは減速。		
「麺類」: ごはん以外の主食ニーズの高さは依然として続く。		
「袋インスタント麺」: ラーメンの定番マルチパックが絶好調。意外にもあげ焼きそばが人気。		
「小麦粉、ブレミックス」: メニューを増やしたり、子供と一緒に手作りできる点でも需要が高まる。それぞれ前年の2倍強。		
カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
主食 TOTAL	113.1	1.0
米	111.0	-12.4
米飯類	124.5	-2.5
食パン	110.8	7.1
菓子パン・調理パン		
シリアル類	138.4	5.7
袋インスタント麺	164.3	18.4
カップインスタント麺	110.7	-1.9
乾麺	139.2	-27.3
生麺・ゆで麺	128.8	13.8
スパゲティ	184.4	17.5
マカロニ類	159.0	27.7
小麦粉	208.3	72.4
てんぷら粉	123.3	10.4
唐揚げ粉	115.4	2.9
パン粉	123.3	11.9
ブレミックス	220.8	74.0

調味料
主食同様、菓ごもりによる内食化が進み、明らかに調理をするシーンが増加してきたことが窺え、ほぼすべてのカテゴリで2桁増。これは、素材系の食材カテゴリ(冷凍水産、農産)の需要増からも推察できる。また、日持ちするメニューとしての煮物需要も窺え、和風基礎調味料に加え、本みりん、(つゆ)煮物料理の素などの伸びも見られる。

「シロップ類、蜂蜜、エッセンス類」: 家庭内で菓子やケーキ、パンを子供たちと一緒に手作りするといった需要が一気に過熱し大幅増となった。主食の粉ものの需要増と合致。(蜂蜜、バターはTVで免疫カアップの食材と紹介された影響も)

「ゴマ油」: 調理需要の高まりからか、安価な調合タイプの伸びが顕著で、前年の1.7倍。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
調味料 TOTAL	122.7	11.2
醤油	119.4	8.2
味噌	110.4	6.2
食塩	121.1	10.9
料理酒	132.1	21.0
砂糖	116.2	11.4
低カロリー甘味料	122.5	15.7
シロップ類	177.8	42.2
蜂蜜	156.4	-9.6
ソース	134.0	15.4
ケチャップ	138.6	16.9
マヨネーズ	117.5	7.5
ドレッシング	110.6	5.8
香辛料	137.5	18.5
エッセンス類	237.1	111.3
焼肉シヤブシヤブのタレ	111.7	0.9
食酢	106.3	6.2
ほん酢	122.0	14.6
本みりん	129.6	21.5
みりん風調味料	117.4	15.3
風味調味料	116.5	8.7
削り節	111.0	6.4
煮干し	110.6	11.2
わかめ・こんぶ類	126.0	12.2
つゆ・煮物料理の素	121.4	6.5
サラダ油・天ぷら油	111.1	2.0
ゴマ油	153.8	29.3
バター	158.6	25.0
マーガリン類	117.2	13.9
チーズ	123.9	15.1
ジャム・ママレード	111.7	7.5

※網掛け
前年比 105%超: 116.2

加工食品①		
新型コロナウイルスの影響により、すべてのカテゴリで前年を上回り、前月から加速したものが多かった。		
特に、主食の「米」「米飯類」の需要増によって、ご飯のお供やそのものの調理に使用する「○○の素」が大きく伸長。連動して汁物にも好影響が及ぶとともに、気温が低かったことも幸いして需要が高かった。また、「スパゲティ」の異様な需要増で「パスタソース」も大きく伸長。「冷凍調理」でもスパゲティ&ソースが伸長し、菓ごもり以降「スパゲティ」需要の高さが窺われた。他にも「うどん、餃子、チャーハン、から揚げ」などが伸長。素材系の「冷凍水産、農産」また「調理用スープ」はこれまで以上に需要が高まり、菓ごもり⇒内食化の実態が鮮明になった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
加工食品① TOTAL	124.9	3.3
春雨・くず切り	128.0	16.1
こうや豆腐	103.4	8.3
海苔	111.4	3.0
ふりかけ	103.1	-6.3
お茶漬の素	135.5	11.4
まぜご飯の素	132.4	8.9
カレー	131.3	5.4
シチュー	133.2	18.4
パスタソース	176.9	17.4
シチューベース	141.4	23.2
メニュー専用料理の素	123.8	12.1
スープ類	115.5	4.1
味噌汁・吸物類	109.5	1.0
調理用スープ	148.6	27.4
冷凍水産	169.7	32.0
冷凍農産	136.8	3.8
冷凍調理	123.7	-2.3

加工食品②
新型コロナウイルスの影響大。ほぼすべてのカテゴリで2桁増。「魚介缶詰」: 前月に続きツナ缶の逆襲が顕著で3割弱の増加(サラダ用の需要増か?)しかしながらサバ缶も前年比116%と復活して首位維持。「缶詰類」: やはり手を掛けずにそのまま食したり、料理の材料にできるなどの簡便性が効いて好調な需要が窺える。「ハム、ソーセージ、焼豚、ベーコン」: 缶詰類同様に調理需要の高まりから、素材の一つとしての重宝されているものと思われる。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
加工食品② TOTAL	117.9	5.7
魚介類缶詰	126.5	12.0
野菜缶詰	141.6	15.6
フルーツ缶詰	144.4	17.6
畜肉缶詰	145.1	-6.0
パウチ入り食材	118.5	4.4
和風食品	101.9	-7.9
洋風食品	116.5	2.7
中華風食品	120.3	8.7
畜肉ハム	115.0	7.0
畜肉ソーセージ	114.7	6.0
魚肉ソーセージ	112.9	2.2
焼豚	129.2	17.7
ベーコン	131.9	16.6

加工食品③
練り物をはじめ、和風のおかず系も前年を上回った。ごはん需要の影響は明らかに。「練り物、豆腐類」: 4月は低温だったこともあり、家族が揃ったところでの鍋需要があったものと推察。「納豆」: デマ騒動もあったが、ごはん需要につられてアップか。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
加工食品③ TOTAL	112.8	4.3
かまぼこ	109.6	4.3
ちくわ	113.2	4.3
はんぺん	112.1	6.4
揚げ物	110.2	4.7
納豆	119.7	7.0
煮豆	102.7	3.5
佃煮	110.0	4.1
もずく・めかぶ		
豆腐類	116.2	6.9

菓子		
失速した前月からは回復。菓ごもりの影響もあり、ファミリーユースの菓子が好調で2桁増。パーソナルユースは苦戦。「ビスケット&クラッカー」: ケーキタイプが3割強の増。子供のおやつ事情にマッチしたか、新商品も好調。「スナック」: ポテトチップス、コーンパフ系が牽引。新商品も好調で販売を伸ばす。「煎餅・あられ」: 既存商品が好調で全体を牽引。話題となった柿の種は約3割増と効果が窺える。		
カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
菓子 TOTAL	105.9	4.6
チョコレート	106.3	9.0
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	117.5	12.9
スナック	114.6	7.5
煎餅・あられ	114.0	8.2
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品		

嗜好品
菓ごもりの影響で全体的な勢いは維持。「アイスクリーム」「デザート類」: 子供のおやつ需要「ホイップクリーム」: 手作り菓子需要の恩恵が明白。「コーヒー他嗜好飲料」: 在宅勤務による需要増。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
嗜好品 TOTAL	104.9	0.1
アイスクリーム	106.2	-0.8
デザート類	107.4	4.4
ペビーフード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	197.0	67.4
インスタントコーヒー	108.3	5.5
レギュラーコーヒー	123.8	13.7
紅茶	127.5	22.4
ココア	128.6	26.2
日本茶	111.1	6.5
麦茶		
中国茶	106.7	10.9

飲料
菓ごもりの影響は見られたものの、低温の日が続いたことで清涼飲料系はこれまでの勢いが影を潜めた。「牛乳」: 普通牛乳に加え低脂肪乳が2桁増、大人需要も。「ヨーグルト、乳酸菌飲料」: 菓ごもりのストレス対策としての腸活・菌活を促す健康意識の表れで2桁増。テレビなどでも話題に。「豆乳」: 菓ごもりのストレス対策を本格化する意識の表れか、無調整モノが2割強の伸長で全体を押し上げ。「トマトジュース」: 健康志向からか無添加モノが牽引。「サイダー」: 清涼飲料で唯一2桁増だが、構造的には、主力ブランドにかなり絞られ明暗がはっきり。「ミネラルウォーター類」: ここでも低温の影響が窺え、前年を上回ったのは炭酸水で125%、ミネラルウォーター前年割れの96%と明暗がくっきり。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
飲料 TOTAL	98.6	-3.9
牛乳	111.9	2.1
ヨーグルト	113.5	5.2
乳酸菌飲料	114.7	4.5
豆乳	113.3	4.6
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース	103.4	-0.8
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー	113.5	3.0
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類	103.5	-7.8
乳酸飲料		

アルコール		
菓ごもりの本格化とともに家飲み需要も増加。但し低温によってビールが振るわず。「ウイスキー」: 好調さを維持。家飲み需要を反映してか、ハイボールのみならずボトルも2桁増。		
カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
アルコール TOTAL	100.1	1.1
ビール		
ウイスキー	115.5	8.0
ワイン	110.6	13.4
日本酒		
焼酎	105.3	7.0

日用雑貨
新型コロナウイルスの影響による異常な動きは、全体的には少々沈静化したきたものの、カテゴリによっては依然として過熱した動きが続いており、前回買いそびれた商品を漸く入手できたといった状況もあって、相変わらず前年を大きく上回った。特に「除菌、抗菌」が訴求されている「漂白剤、芳香・消臭剤、ぬれティッシュ」の需要は、増税前を上回る勢いに陰りは見えない。また家庭内を清潔(消毒)に保とうとする意識からか、「住居用クリーナー、使い捨て紙クリーナー」をはじめとする各種クリーナーの需要も高まった。これに伴い、「家庭用手袋」の需要は急増。これも菓ごもり効果の一端と言えそう。「ペーパータオル」は、布製マスクの補強用としての効果があるとの報道が効いた可能性があることに加え、家庭内での調理が増加したことによる需要もあると考えられる。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
日用雑貨 TOTAL	115.7	0.6
歯ブラシ		
歯磨き	105.6	2.6
マウスウォッシュ	102.5	3.3
義歯用剤		
洗濯用洗剤	102.2	1.1
中性洗剤		
漂白剤	142.2	19.5
柔軟剤	100.0	2.4
台所用洗剤	142.4	26.1
住居用クリーナー	196.6	50.6
トイレ用クリーナー	124.8	9.8
バスクリーナー	127.3	15.4
パイプクリーナー	115.1	6.5
家庭用手袋	193.4	39.9
化学雑巾	126.4	9.3
たわし・スポンジ	118.7	10.1
水切り袋	131.9	17.8
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	127.0	9.9
トイレタング用洗浄芳香剤	175.9	30.1
除湿剤	108.0	7.1
除湿剤	104.1	-2.4
ラッピングフィルム	115.4	2.2
アルミホイル	127.6	10.2
食品包装用品	148.7	20.9
アルミガスマット	122.6	13.2
ティッシュペーパー	103.4	-16.2
トイレットペーパー	114.6	-33.9
ペーパータオル	158.3	3.8
ぬれティッシュ	203.6	25.1
使い捨て紙クリーナー	159.9	21.7
紙おむつ		
大人紙おむつ	100.2	-6.1
生理用品		
絆創膏		
使い捨てカイロ	103.1	9.7
綿棒	114.0	1.8

ペット
新型コロナウイルスの影響はかなり減少。落ち着きが戻りつつある。「キャットフード」: おやつ系が伸長して牽引。「ペット用品」: 特に防臭シートやウェットティッシュと言った紙製品が引続き伸長。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
ペットカテゴリ TOTAL	103.3	2.7
ドッグフード	100.4	3.3
キャットフード	104.7	3.8
ペット用品	104.8	-0.6

石鹸・ヘアケア		
菓ごもり生活の本格化してきたことに伴い、様々な需要が窺えた。「石鹸」: 入念な手洗いのための需要。液体タイプは前年の3倍弱まで拡大。規模は小さいながらも、手指の清潔を訴求する商品は前年の2.590倍の伸長。「入浴剤」: 低温だったことや、菓ごもりによる親子での入浴機会増で2割アップ。子供向け玩具入り商材が好調で拍車をかける。「ヘアトリートメント」: 菓ごもりで時間に余裕ができたせいか、染毛目的の商品が3割アップと好調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
石鹸・ヘアケア TOTAL	118.0	12.2
石鹸	215.1	70.1
入浴剤	121.9	17.1
シャンプー	101.7	1.4
ヘアリンス	104.8	3.4
ヘアトリートメント	109.3	11.2
アウトバスヘアケア		
ヘアカラー	103.3	10.9
育毛トニック		
制汗剤		

化粧品
化粧品は、菓ごもり=不要不急の外出自粛の影響をまともに受けた。2月の基礎化粧品のストック購入もあって、洗顔クリーム以外すべてで前年割れ。特にメイクアップ化粧品は、外出するにしてもマスク着用のため、メイクの必然性が失われるといった直撃を浴び、前年の9割に満たないものばかりとなった。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
化粧品 TOTAL	77.3	-6.9
クレンジング		
洗顔クリーム	107.4	6.2
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品
医薬品も、新型コロナウイルスの影響による先月の異様な動きは沈静化してきた。対策用品の「マスク」は、並行輸入ものが出回り続いたこともあってか、ようやく通常の店頭にも並びだして販売が上がる。そもそも花粉症対策としては例年4月には需要が落ちるために、前年比は高い。「漢方薬」: 気温が低かったこともあり、葛根湯や麻黄湯といった風邪対策ものが好調。感染を恐れて病院・クリニックへは行かず自宅で療養することが習慣化するか注目される。「口腔用薬」: 先月から引続き2桁増。特にのどの殺菌、消毒を訴求するスプレーなどが売上を伸ばして牽引。「皮膚用薬」: 主役は手指消毒剤で、先月からも販売量上昇し、前年の実に12倍強にまで拡大。需要の高さは相変わらず続いている。

カテゴリ	金額前年比 2020年4月	前月差 2020年4月
医薬品 TOTAL	96.5	8.8
コンタクト用剤		
マスク	174.3	84.4
ミドリリンク剤		
漢方薬	112.7	5.9
総合感冒薬		
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤	101.5	-0.3
鎮咳去痰剤		
口腔用薬	119.3	7.1
胃腸薬		
整腸薬		
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	131.0	10.7
目薬		
健康食品		

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。